

実教出版「日商簿記ゼミ3級 教本／問題演習 改訂版」2022年度試験以後の補足

2021年12月10日にも「企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」等の適用にともなう商工会議所簿記検定試験出題区分表などの改定について【確定版】」が公表されております。

改定の内容は収益認識基準に関するものですが、基準の適用により会計処理や財務諸表上の表示が従前と変わる部分は、2022年度に施行する試験から出題されることがあります。

詳しくは、日本商工会議所のホームページをご参照ください。

<https://www.kentei.ne.jp/35703>

なお、上記に伴い、本書に記載のある以下の項目は、2022年度以後の変更となります。

変更項目	説明・該当箇所																											
分記法	分記法は、重要性が乏しくなったため出題範囲から削除されます。 おもに分記法に関する記述、うち左記項目に関する内容です																											
売上諸掛	おもに売上諸掛に関する記述、うち左記項目に関する内容です。 発送費に関しては、処理が非常に難しくなり出題の可能性は低いと思われ ます。が可能性として、以下のような問題が出題されることが想定されま す。該当ページ p66～67、75 については、補足 3～5 ページを参照ください。  【問題】 弊社は商品 A を 200,000 円で、みのる出版株式会社へ販売し、送料 3,000 円を加えた合計額を掛けとした。また、同時に配送業者へ商品 A を引き 渡し、送料 5,000 円は後日支払うことにした。  【解答】 <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>(借) 売掛金</td> <td>203,000</td> <td>(貸) 売 上</td> <td>203,000</td> </tr> <tr> <td>    発送費</td> <td>5,000</td> <td>    未払金</td> <td>5,000</td> </tr> </table>	(借) 売掛金	203,000	(貸) 売 上	203,000	発送費	5,000	未払金	5,000																			
(借) 売掛金	203,000	(貸) 売 上	203,000																									
発送費	5,000	未払金	5,000																									
住民税預り金	教本 P.99 に関する記述のうち左記項目に関する内容です。 2022 年度に施行する日商簿記検定試験から、新しく住民税預り金が追加され ました。教本 P.100 の仕訳は以下のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給料を支払った（所得税、住民税、社会保険料を差し引く） <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>(借) 給料</td> <td>××</td> <td>(貸) 所得 税 預 り 金</td> <td>××</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>    住 民 税 預 り 金</td> <td>××</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>    社 会 保 険 料 預 り 金</td> <td>××</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>        ○ ○ ○</td> <td>××</td> </tr> </table> </li> <li>・ 所得税預り金を税務署に、住民税預り金を市町村にそれぞれ納付した <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>(借) 所得 税 預 り 金</td> <td>××</td> <td>(貸) ○ ○ ○</td> <td>××</td> </tr> <tr> <td>    住 民 税 預 り 金</td> <td>××</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </li> </ul> <p>【参考】 深谷花子さんの給与明細書  <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>〈支給〉本</td> <td>給</td> <td>¥190,000</td> </tr> </table> </p>	(借) 給料	××	(貸) 所得 税 預 り 金	××			住 民 税 預 り 金	××			社 会 保 険 料 預 り 金	××			○ ○ ○	××	(借) 所得 税 預 り 金	××	(貸) ○ ○ ○	××	住 民 税 預 り 金	××			〈支給〉本	給	¥190,000
(借) 給料	××	(貸) 所得 税 預 り 金	××																									
		住 民 税 預 り 金	××																									
		社 会 保 険 料 預 り 金	××																									
		○ ○ ○	××																									
(借) 所得 税 預 り 金	××	(貸) ○ ○ ○	××																									
住 民 税 預 り 金	××																											
〈支給〉本	給	¥190,000																										

	残業手当	<u>10,000</u>		
	総支給額	200,000		
	〈控除〉健康保険料	9,800		
	厚生年金保険料	18,300		
	雇用保険料	600		
	所得税	3,770		
	住民税	<u>8,200</u>		
	差引支給額	<u>¥159,330</u>		
	(仕訳)			
	(借) 給料	200,000	(貸) 社会保険料預り金	28,700
			所得税預り金	3,770
			住民税預り金	8,200
			現金	159,330

## 問題 2-6

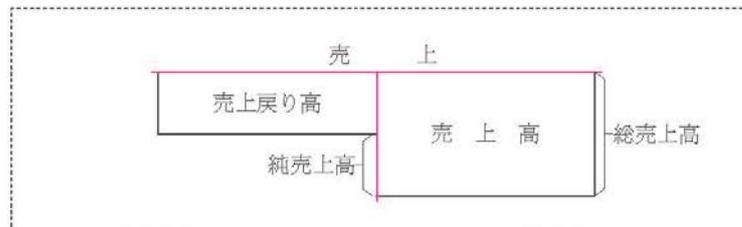
三陸社の次の取引について仕訳しなさい。

- (1) 岩手社から商品¥150,000を仕入れ、代金のうち¥50,000は現金で支払い、残額は掛けとした。
- (2) 宮城社から商品¥220,000を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃¥15,000は現金で支払った。

### (2) 売上勘定

※1 売り渡した商品が返品されること。

商品を売り渡したときは、売上勘定の貸方に売価で記入し、売上戻り<sup>※1</sup>は借方に記入する。なお、商品を売り渡すさいに、荷造費や発送費などを支払うことがある。このような費用は発送費勘定（費用）で処理する。ただし、買い手から送料などを受け取る場合は、送料など込みの金額がこの取引での売上（収益）となる。



### POINT

#### 仕入取引

1. 返品は、仕入れたときの逆仕訳
2. 仕入諸掛は購入代価に加算

#### 売上取引

1. 返品は、売り渡したときの逆仕訳
2. 売上は買い手から受け取る送料を含める

### 仕訳

・商品を掛けで売り渡した

(借) 売掛金 ×× (貸) 売上 ××  
-収益-

・掛けで売り渡した商品の返品を受けた

(借) 売上 ×× (貸) 売掛金 ××

・商品を掛けで売り渡した。なお、発送費を現金で支払った

(借) 売掛金 ×× (貸) 売上 ××  
発送費 ×× 現金 ××

買い手から受け取る送料を含める

**例題**

**2-8**

中部商店の次の取引について仕訳し、売上勘定に転記しなさい。

- (1) 愛知社に商品 ¥80,000 を売り渡し、代金は掛けとした。
- (2) 上記商品のうち ¥8,000 について、品違いがあったとの理由で返品された。なお、代金は掛け代金から差し引くことにした。
- (3) 岐阜社に商品 ¥120,000 を売り渡し、代金は掛けとした。なお、発送費 ¥2,500 は配送業者に現金で支払った。
- (4) 三重社に商品 ¥230,000 を売り渡し、送料 ¥11,000 を加えた額を掛けとした。なお、発送費 ¥11,000 は配送業者に現金で支払った。

●解答	(1)	(借) 売 掛 金	80,000	(貸) 売 上	80,000
	(2)	(借) 売 上	8,000	(貸) 売 掛 金	8,000
	(3)	(借) 売 掛 金	120,000	(貸) 売 上	120,000
		発 送 費	2,500	現 金	2,500
	(4)	(借) 売 掛 金	241,000	(貸) 売 上	241,000
		発 送 費	11,000	現 金	11,000
			売 上		
		(2) 売掛金	8,000	(1) 売掛金	80,000
				(3) 諸 口	120,000
				(4) 諸 口	241,000

**(3) 繰越商品勘定**

期末に売れ残った商品（期末商品棚卸高）を記入する勘定である。したがって、期中にこの勘定に記入することはない。

**問題 2-7**

北陸商店の次の取引について仕訳しなさい。

- (1) 富山社に商品 ¥90,000 を売り渡し、代金のうち ¥20,000 は現金で受け取り、残額は掛けとした。
- (2) 上記商品のうち ¥5,000 について、品違いがあったとの理由で返品された。なお、代金は掛け代金から差し引くことにした。
- (3) 石川社に商品 ¥130,000 を売り渡し、代金は掛けとした。なお、発送費 ¥5,000 は現金で支払った。
- (4) 福井社に商品 ¥110,000 を売り渡し、送料 ¥3,000 を加えた合計額を掛けとした。なお、発送費 ¥3,000 は配送業者に現金で支払った。

**まとめ**

1. 分記法と3分法

- ・分記法 商品勘定(資産)・商品売買益勘定(収益)
- ・3分法 仕入勘定(費用)・売上勘定(収益)・繰越商品勘定(資産)

	分 記 法	3 分 法
仕入時	(借)商 品 ×× (貸)□ □ ××	(借)仕 入 ×× (貸)□ □ ××
売渡時	(借)□ □ ×× (貸)商 品 ×× 商品売買益 ××	(借)□ □ ×× (貸)売 上 ××
返 品	仕入時・売渡時の反対仕訳	

2. 仕入諸掛と発送費

- ・仕入諸掛は購入代価に加算する
- ・荷造費や発送費などは発送費勘定(費用)で処理する  
買い手から送料などを含めた金額を受け取る場合は、総額を売上(収益)とする

3. 商品有高帳

- ・在庫管理とともに売上原価を知ることができる
- ・記帳方法 先入先出法・移動平均法
- ・記帳上のポイント
  - ①商品ごとに口座を設けて記帳する
  - ②原価で記帳する

※「説明・該当箇所」欄には、その項目に対応する主要な箇所を示した。

以上